

2024 年度 4 月 コーチ会議メモ

日時：2024 年 4 月 20 日（土）15:00～17:00

場所：高井戸地域区民センター 1, 2 会議室

1. はじめに（谷口さん）

・23 年度はコーチ会議を 7 回開催。24 年度も同じ頻度で開催予定。

年間スケジュール：4 月 20 日（土）、6 月 1 日（土）、7 月 13 日（土）、9 月 7 日（土）、10 月 25 日（土）、1 月 26 日（土）、3 月 1 日（土）。場所は決定次第、都度連絡。時間は 15 時または 16 時頃から開催予定。

2. 2023 年度振り返り、2024 年度方針及び計画

1) 23 年度振り返り

高学年（奥村さん）：目標を設定して練習を重ねたことでスキルアップに繋がった。一方期中にヒーローズ敗退後、生徒のモチベーション維持に苦労した。

進路では、生徒の大半（24 名中 21 名）が中学でラグビーを続ける選択をした。

高学年（太田さん）：6 年生を超える高い目標を持って練習を重ねてきた。生徒は、組織力を学び、自分の役割を理解して、チームプレーで貢献する意識が定着できたと思う。中学年（佐藤さん）：全力で練習に取り組む意識の向上、各自ができることを増やして楽しさを覚える、ルールの理解を深めて規律を守る意識を向上を重点的に取り組んだ。カテゴリーでの練習は、学年の人数、スキル差で調整に苦労した。生徒の集団活動の意識も高まった。

中学年（荒牧さん）：ミニラグビーのルール、プレーに慣れることを重点に練習を重ねた。一方で、残念ながらプレーに慣れることができず期中に数名が退会。また自主練が予定通り出来なかった事が課題。今期は注力して行きたいが、今のところ参加生徒数は多い。

低学年（梅木さん）：生徒が長くラグビーを続けてもらうためにエンジョイラグビーをテーマに設定した。24 年度は、体力づくりに取り組んでいきたい。

幼児（高柳さん）：ラグビーを楽しんでもらう練習メニューで取り組んだ。期中に新規入会が増えて試合に必要な人数を確保できるようになった。体験生徒の入会率を上げるためにも、体験後に保護者のサポートを手厚くしていきたい。またレジェンドコーチによるサポートも大きいので今後も協力してほしい。

2) 2024 年方針

高学年（太田さん）：社会に通じる心と行動習慣を養う。生徒、コーチ、保護者が一緒に成長する。チャレンジする意識を高める。生徒が目的意識を持って、自発的

に動く意識を定着させていきたい。

中学年（荒牧さん）：生徒にチームプレーの意識を定着させることで、カテゴリとしての一体感を醸成する。また、昨年度の課題であった自主練の少ない参加人数については、コーチ、保護者を含めて、自主練の意識を見直すことと、自主練の運営方法の工夫で参加率向上に繋げたい。

低学年（熱田さん）：5つのコアバリュー（品位、情熱、結束、規律、尊重）を意識して、タグラグビーの基礎を身につける。生徒には、当学年より上のレベルを目指す意識を持たせたい。

幼児（大輪さん）：生徒が週1回のラグビーを楽しみになるように環境づくりをしていきたい。ラグビーを通じて、相手の話を聞くこと、相手と話すこと、何事にも感謝の気持ちを大切にすることを伝えていきたい

3)ヘッドコーチ補佐紹介（当日、出席のコーチのみ紹介）

蒲生さん（全体）：グラウンドで練習を見せて頂き、提案出来る事があれば行って行きたいと思うが、あまり深刻には捉えないで、その際は聞いて頂ければと思う。

向井さん（中学年）：タグ→ミニに移行に伴い、プレーの幅、ルールは大きく変わり、コーチング、レフリングには沢山の新しい情報をキャッチしなければならない為、練習方法や安全面の確保も含めてお手伝いして行きたい。

小島さん（低学年）：低学年から接するのは3回目の経験になるが、大体状況は分かると思う。2回経験して、低学年～高学年に進級する事に関して逆算で考え、今、低学年として何をしなければいけないか、カテゴリーのコーチ達と一緒に考えて行きたい。

3. ルール・レフリング（向井さん）

父母総会では、子供達にラグビーに安全に取り組んでもらう為に担当を置き、レフリー、タッチジャッジ、マッチオフィシャルに参加して頂き、ルールをよく理解、研究して行く事は組織として必要である事を説明した。

JRFU ルール通達

1) スクラム開始時のブレイキフット（2024年2月）

安全のために（HO）の足を前に出してからスクラムを組む。レフリーが出す足のマークに HO が右足を出す。安全対策が背景にあり、ミニのスクラムは組み合って落ちる事はないが、ミニの試合においてもレフリーが指示するマークの位置は大変重要で、東京都のレフリー委員会でも言われており、必ずマークの位置を意識させる事を指導願いたい。

2) 公認ゴーグル

Raleri 社（イタリア）製のゴーグルが新たに公認、サイズが増えた。J R F U の指

定はない。都大会に関しては変更ない（大会要項にゴークルは詳細記載）。但し、ヒーローズ参加予定の高学年生は主催者側が前記社製でWRのマークがあるものと言ってくると思われるので、ゴークルは買い直す必要がある。

3) 2024年の協議規則改正がサンケイスポーツのオンライン版で掲載（4/20時点でWR、JRFUは未発表）。5点あるが今後通達として出されたら説明の予定。キックのオフサイドに関しては、ミニラグビーでも起こり得るので、理解してしっかり押さえる必要がある。

4) 神奈川ローカルへの対応（5/3 横浜 RS 交流戦 5/4 二都県大会を踏まえて）

以下5項目について試合前のミーティングで確認要。

- ・試合再開のキックは得点を取られた側から
- ・PK、FK リスタート時は、しっかりタップしてボールが転がるように動かすこと。ふれるだけは×
- ・高学年スクラム解消はボールが触れた時
- ・自陣 GL すぐ前の PK は 5m 内でも反則の地点
- ・ジャッカルは、脚が揃っている状態 NG、またいでも頭が下がっている状態は NG

4. コーチングについて（蒲生さん）

新任コーチのオリエンテーションを次回5月に実施予定。開催頻度は、3か月に1回。今後は、5月、7月、10月、1月に実施予定。

対象は直近3ヶ月の間に入校。コーチ登録された全員。

ラグビー憲章、指導方針、コーチ心得、杉並らしさ、協会のコーチ研修、資格制度の説明等。

実技研修：時間、グラウンドに余裕がある際に不定期に開催。

「攻防の原則」から練習メニューを考える→やってみる→振り返る。

コーチ会議は2023年度同様に7回開催の予定。

5. 安全対策について（関口さん＜植木統括コーチの代理＞）

・24年度目標は、スクール全員（生徒、コーチ、保護者）が安全で楽しくラグビーが楽しめる環境整備。

・スクール全体で練習場所、内容、天気等で安全第一での活動意識を持ち続ける。

・SA 取得、更新は、各学年の安全担当が取得状況を確認のうえ、コーチに SA 取得を促進

4月8日付け取得方法等のメールをご参照されたい。

・熱中症対策は、十分な水分、塩分補給、身体を冷やす、帽子の着用等を徹底し、生徒の体調変化の監視を強化

- ・ケガ、事故の対応では、迅速な対応に加えて、情報共有を徹底する
- ・24年度も普通救命講習会を開催予定。コーチに積極的な受講を促す。

6. コーチ資格取得について（小田さん）

- ・組織も大きくなり、今後は学年毎に資格状況を把握する。
- ・SAは、昨年に続き夏合宿までにコーチ取得率100%を目指す。
- ・コーチ、レフリー、タグティーチャーについても、資格取得を推進する。
- ・取得しているが、有効期限が不明との連絡が少ない。問い合わせ先は分かり、後日メールするので該当の方は調べて頂くようにお願いしたい。

次回コーチ会議：6月1日（土）予定